



急用間合即座引全本
九年月ヲ經ガレドモ大ニ世ニ行ハレテ印版スデニ零滅ニ至レリヨツテ
此度字教ヲ廣大ニ増益シテ更ニ字ヲ引ニ至テ速カニテワツラハカ
ラガル法ヲエ起シテ新ニ覽効シ普ク海内ニ布ク其題ヲ改筆左ノ如シ
急用間合即座引全本

大成正字通

全部七册
合本一册

石ノ神書儒書醫書詩文集尺讀哥書連誦或縮軌小誌佛書
類諸子百家ノ書數千部ヲアツク其中ヨリ用フベキ字ヲ又キカミレテ
コレニ音訓又ハ詠ヲ副テ新ニ撰シ大ニ増補スコレテ印行ノ字引
多シトイヘドモ此書ニクシラブレバ十一ニモ及バカ事ハ門部ニテ神見
クニベナカレ候テモ分明ニ知レ申候コレテ字ヲ集ムル事是ニテク字引
十倍ニテ雅俗日用ノ切要ヲモラサカル事ヲ知ルベシ和漢ノ字引
詩文尺牘和哥連俳ヲ作ル人ハ要テハトモコレヲ蔵メテ失
ニ備フニ其字ヲ引事ノ速カクト増益ノ趣キハ別ニコレヲ記ス

日用食性和解大金下

水類

水井 初丁

千里水 同

秋露 同

臘雪水 同

寒泉水 同

冬霜水 同

節氣水 同

溫湯 同

熱湯 同

生熟湯 同

氈氣水 同

炊湯水 同

洗兒湯 同

地漿水 同

酒類

酒 三丁

春酒 同

冬酒 同

屠蘇酒 同

葛蒲酒 同

黃精酒 五丁

地黃酒 同

菊花酒 同

枸杞酒 同

五加酒 同

天門久酒 同

茴香酒 同

豆淋酒 同

薯蕷酒 同

葡萄酒 同



食世下

桑椹酒 六丁 牛蒡酒 同
練酒 六丁 甘酒 同

煎酒 同 煎酒 同

薑酒 同 燒酒 同

微淋酒 同

粥類

麥實粥 七丁 糲粥 同

蓮子粥 同 粳粥 同

芋粥 同 菜菔粥 同

薯蕷粥 同 胡蘿粥 同

艾實粥 七丁 枸杞粥 同

生薑粥 六丁 綠豆粥 同

薺菜粥 同 薏仁粥 同

韭菜粥 同

御子粥 七丁 粟子粥 同

赤豆飯 同

雞飯 同

菁飯 同

葱豉粥 八丁 赤豆粥 同

赤豆飯 同

雞飯 同

菁飯 同

飲食類

飯食 八丁 一度飯 同

赤豆飯 同

雞飯 同

菁飯 同

海飯 八丁 茶漬飯 同

奈良飯 九丁

餅 同

赤豆餅 同

者餅 九丁 炙餅 同

片餅 同

水餅 同

栗餅 同

黍餅 九丁 艾餅 同

牡丹餅 十丁

拓餅 同

捻頭 同

強飯 十丁 粽 同

蕎麥切 同

斬麥 同

索麩 同

麥粉熬 十丁 麩筋 同

大麥麩 十丁

小麥麩 同

暴花 同

炒米 同 道明寺 同

香煎 同

米麩 同

酒糟 同

酥醕 五丁 批酥醕 同

淡豉 同

濱納豆 同

醬油 同

鹽 十三丁 米醋 同

胡麻油 同

豆腐 同

豆腐皮 同

葛粉 十丁 蕨根粉 同

沙糖 同

冰沙糖 同

紫糖 同

飴糖 十五 食鹽 同 薺 同 石花菜 同 白柳 十六

烏柳 十六 柳糕 同

果子糕類

饅頭 十六 羊羹 同

筍糕 同 鴨糕 同

輪糕 同 煎餅 同

真米 十七 水卒 十八

昆餅糖 十六 蜜糖漬 同

野菜干物類

朮肥 同

白雪糕 同

卷煎餅 同

沙糖攤 同

外郎糕 同

菓糕 同

松絲 同

沙糖豆 同

鯢糕 十七

落鴈 同

藤實 同

阿餅糖 同

干大根 十八 干燕 十九

干瓜 同 干苔 同

寒曝米 同

干菜 同

干松茸 同

葎葉 同

干椎茸 同

干粟 同

干飯 同

鮑魚類

干網 十九 干網 二十

干網 二十 干網 二十一

干網 二十一 干網 二十二

干網 二十二 干網 二十三

干網 二十

干網 二十一

干網 二十二

烏流魚 同

唐墨 同

干網 二十一

干網 二十二

干網 二十三

熬海鼠 同

串糖 同

干網 二十二

干網 二十三

干網 二十四

加豆乃古 同

串糖 同

醃魚類

加豆平節 九

同

同

同

同

鹽鋼九

鹽鱒同

鹽魴同

鹽曳同

鹽鯉九二

鹽鱈同

鹽鱈同

鹽鱈同

鹽鱈同

鹽鯉同

鹽鱈同

刺鱈同

目魚同

鹽鱈同

炒鯉九三

海糖九三

鹽地同

醋蚌同

鹽鵝同

鹽鴈同

鹽鴨九三

鹽鴨九三

醋蚌同

鹽鵝同

鹽鴈同

鮑鮑九三

鹽漬魚類同

魚脂同

鮑鮑九三

鮑鮑同

魚脂同

魚鱈九四

魚鱈同

魚鱈同

魚鱈同

魚鱈同

菌類

香白草九五

小鳥類九五

小鳥九五

金銀鍍墨類九五

金九五

百州霜共六

墨同

鍍醬

燕脂共

日用食性和解大全下卷

水類

井水いづみづ氣味きみあましく平ひらくは東先せん新しんにくむ水みづ痛いたといはる
 平旦へいたん第一だいいちといふと井花水いげすいと云い法のりのりと同一どういつとす
 むと功こう多たし凡おほ井水いづみづをまとと比ひ勝かつよりもくくれ
 ととととははそのそのののくくれれ比ひ河がよりよりののままととるる河が流りあり
 ままとと城しろのの渠みちのの汚けららああれれ井い乃の中ちゆうままららりりままれ
 入いのの茶ちや葉えんにに用ようゆゆぐぐんん又またののほほのの井いああ濁にごららににる
 桃ももにに香かうととすすりりててああれれままらら梳すむむふふがが時ときくくてて比ひ主しゆ活かく

酒後の熱病を治す目の中此翳を洗て可あり
千里水 平毒は凍水の石を流氷の川あり也
西より東へなる水は東流ありこれとらう
ものいふ事極まるるの多泡とありと数なる
と耳爛ありと月を糸と名へ主治病はのこ弱
及邪機とのらひて
秋露 平毒は凍水州乃頭上はのうつ
百病といひ消渴を治すを極く飢をいふと
澤と拘り葉のこありあは心と清く目とあり

百病のよきありあは乃容色とあり
腫水 平毒は凍水州乃頭上はのうつ
こはとつちとてあり春君はりらるる
そ水 平毒は凍水州乃頭上はのうつ
淋或る暑病とらうはゆけとあり瘡痕はらし
糸つらとらひ小使と利也
冬霜水 平毒は凍水州乃頭上はのうつ
乃面をわくはけ也
節氣水 一年二十四節月とつらる水あり

節々にほてまう。五毒と清明の二節のありとなくの
ゆるくと神水とよ。諸風揮りてよそん。由茶と酒を
造る。宜く久く貯。壞せ。多を露。冬。至。小を大。こ
この四節の水。五毒とよ。補ひ。或。疾。火。積。聚。虫
毒。と。治。と。茶。と。酒。と。造。る。に。宜。く。示。端。種。白。露。乃。三
節のあり。皆。毒。わ。り。茶。と。酒。と。分。か。つ。た
温湯。ま。味。辛。く。熱。微。毒。り。遺。伝。風。筋。骨。寧。り。と
ゆる。及。此。皮。痒。き。足。う。る。に。疥。痒。り。病。ひ。皮。膚。骨。節。は
わ。る。の。湯。治。と。へ。治。て。は。大。德。回。り。ま。い。り。ま。い。り。と。

茶治及び飲食と補養とへ。一。東。體。虚。の。り。れ。ま。熱
つ。り。と。あ。る。ま。
熱湯。乳。味。甘。く。平。毒。を。陽。氣。と。助。け。經。絡。と。あ。ら。ん
熱湯。少。く。漸。じ。守。り。ま。歯。と。損。じ。眼。と。病。り。の。熱。湯。は
浴。と。と。あ。れ。時。を。温。乃。病。は。熱。湯。に。艾。と。い。ま。て。浴。と
風。虚。乃。病。は。五。加。皮。と。い。ま。て。浴。と。病。ひ。速。に。治。ま
生。熱。湯。守。り。味。甘。く。平。毒。を。東。體。虚。乃。毒。惡。乃
物。と。食。む。後。ら。り。霍。亂。と。作。湯。と。入。て。飲。み。入
食。と。吐。つ。く。と。速。に。の。中。と。烟。合。と。治。ま。

龍氣水 煉器ろうきにてうけるをて頂髪ちやうはみとほくし長く
 置くまと又小口せうくちの頭かぶと朝あさ々に梳くてあつたを並ならべし
 炊湯水くわいとうずい 煉夜宿れんやじゆくのついで湯ゆと面おもてと洗せんは顔かほは同色どうしき
 洗せん見湯けんみとう 細胞さいほう交まじらさうらうらに一盞いっせんと引ひの産婦さんぶは知ちを
 洗せん見湯けんみとう 細胞さいほう交まじらさうらうらに一盞いっせんと引ひの産婦さんぶは知ちを

酒類

酒 味あじ苦く母はは辛から大按おほい毒どくあり謝せん茶ちや力ちからとひて
 邪よこしまの毒どく殺ころす器き血脈けつみやくと通とほ腸胃ちやういと厚あつ皮膚くわひと潤うる
 三濕さんじつとらじ憂うれと消しょう怒いかでかと奪うば一言いっごん八宣はつげん心こころ暢ちやう
 謾まん脾ひ氣きと養やしやひ肝かんと助すけ凡ふつのそら乳にゅう以もつて八はつ機き病びやう鶴つる
 云い飲のむしすくけ時とき腸ちやうとくさくも酒しゆ八はつ大おほ美み祿ろくありらんちの
 筋すぢ以もつて蒸じやう神しんと名ななり壽じゆと損そんと時とき酒しゆ八はつ大おほ美み祿ろくありらんちの
 と食たと酒しゆ少せう飲のむへ一いっ血けつ和わ一いっ香かうみめくし神しんと壯さうに
 きと藥やく愁しゆ心しん消しょう興きやうとめりもみぬのじ時とき神しんと傷いたり血けつと
 耗た一いっ男おとこ八はつ損そん精しやうと亡な瘡そうと生なちと動うごを冷ひや酒しゆの熱あつも

虚冷の人には宜うは煖酒を常に少煖て用てらるる
熱うんをれば肺氣をさうり自然損也

春酒清明造け酒を常につくまをいんと肥しきと
白くは新酒のめは肝守代動し頭眩とめ也

老酒十二月造け酒なり又三年以上の酒は血気や
らる氣成や一かひ胃成のころきとく功あり

屠蘇酒正月三朝にこれ取れん天行疫癘一切乃
不正の氣成く

菖蒲酒同癖と活一おむ杯の痿と枯し血脈と通し

久しく後とれば身成く目とわさく功あり
黃精酒筋骨と強くし精髓と養白髪とくくし百

病と活く功多し
地黄酒虚弱と補養し筋骨と壯し血脈と通し

くくればとやめられ白とくく
菊花酒頭風と活し身とくく目とわさく功あり

乃痿痺とくく自病と消し
枸杞酒虚弱と補し精氣と養し陽事とくく人冷

風とくく酒と止り腰わしとすくやうに也

五加酒 風濕とろり一乳のあまひひいふくは骨気

とらんう 精髓とあらじ

天門冬酒 五莖と潤血氣と和げ久く服せれば五骨

七傷悪疾と治す

茴香酒 卒に腎氣つこま畢九偏墜つこ或は牽り心接

のつこひ治す

豆淋酒 血気やろり風とろり中風とろりはゆがと陰毒とろ

乃つこ尿血及産後一切中風の諸病と治す

葛藜酒 然乃風とろりの眩暈と治し精髓と補し肝

胃とろらんま

葡萄酒 腸腎気のろり顔とろりかろりとろり

從病菌の疾い身に瘡疹あつりの飲とあらじ

桑椹酒 五莖と補い耳気とろり目気明く水腫と

治す

牛蒡酒 風毒と治しじのれつこひ治す

薺酒 久く飲ば耳とろり目とあらじ久く飲ば

とすこやうに

薑酒 偏身中風中惡心腹の冷痛と治す

微淋酒 獨腎とのりの氣はゆ一中とゆわくを

らせく

練酒

中と和氣力とゆ一男と暖む白濁とゆ

茸酒

氣はらじ揚る氣利と多飲ハ虫とせし泄

煎酒

疥とゆわく小児とゆわく一皮膚と眼と眼病疥

煎酒

疥男と養ひ氣はゆ一皮膚と眼と眼病疥

病産はのし

燒酒 氣味まき甘し大熱毒り時冷積を氣と消

濕痰と燥らるるの用あり池とやめ霍亂瘧疾噎膈心腹冷

痛陰毒よて死せんとするを治せぬと殺瘡と瘰癧小使と

大便とよくし月れ赤く撞つしと洗せある一わり

多のめは男代やより瘡とやゆ

粥類

養飯

男代やより瘡とやゆ

あし瘡とやゆ湯とやめ瘡とのぞく

絲粥

赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥

逆小兒乃

ゆわくあし瘡とやゆ湯とやめ瘡とのぞく

搜粥

赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥 赤粥

芋粥

腸胃とゆとり人をあかた

薯蕷粥

腎精と補いこころをさく

芡實粥

精氣とこころと身とこころと目と明らさる

枸杞粥

精血と補益し腎氣を固む

蓮子粥

脾胃と消化しくらくらくとさく

菜菔粥

食を消化し腸を利す

胡蘿蔔粥

中とゆかりやうけし氣とくさる

御子粥

及胃を代らし大腸を利す

粟子粥

腎氣と補いこころとつらさる

生姜粥

中とわくこめ悪氣を代のそく

菘菜粥

伏熱とこころ大小腸を利す

韭菜粥

中とわくこめ下焦とわくさる

葱心粥

汗と熱とくさるしと解す

赤豆粥

小便と通し水腫とせきし瘦疾とのぞく

綠豆粥

熱毒とけいせいのそくしとさる

薏仁粥

濕病と治し腸胃を利す

飯餅麩類

飯食

珍

飯食、依穀とるつらさるし其各米性ははてしあり

二度食 虚と補い中とゆるし五臓と安氣血と潤

赤豆食 氣をまじ中とゆるし煩熱とよりを瘧疾と除

大小腸と利也

鷄食 中と補い氣力を補一陽氣と助て下元と養ひ

風濕とのぞ

菁食 氣を下し食と消し氣血と通一腸胃と利也

病人小兒よりあしう

淘食 氣をくじ中と和一腸胃の瘧とより

茶漬食 氣を下し食と消し疝熱と解一小便と利す

虚冷の者よりあしうは痰と生也

奈良茶 氣をくじ食と進じり利一大小腸と利也

く食を瘧と生男と損じりやとむる病人小兒より

角豆寒餘赤豆黑豆等とゆぐ入るるを同し

餅 中と補い氣力を養一瘧疾とわくし大小腸と實

下元とやいひ小便とよくく

赤豆餅 氣をくじ男と和気あくるはを熱とより

はと下に温りて食し冷るは男を冷そん也

煮餅 中と補い氣力を補いあとり下元と養

病人の心臓にうつる其病ははやく用むべし

炙餅 揚胃と和し乳液を煮し大小便をすくくは飲食

おろはさとの喉痺を煮し中と損を病人の心臓

片餅 水乳を利し脾胃をやすくは痛月に了らん

この宜病人は用いぬる湯はひききそ乾

氷餅 治癒よいまは拂天よころし製を

粟餅 中と物い乳液を煮し脾胃を利し陰を補ふ

黍餅 中と物い乳液を煮し脾胃を利し

艾餅 中と物い乳液を煮し脾胃を利し乳液を風濕を

ちり乳血液を煮る

牡丹餅 中と和し下焦を和しはち男を煮し

拈餅 中と和し脾胃を和しはち大小湯を煮し

捻頭 中と和し乳液を煮し大小便を利し

強飯 中と和しはち乳液を煮し靴のつりし世を和し

揚を煮しはち血積を行しはち病よひはち

赤飯を煮しはち血を和し

乳液を煮しはち煩渴をやめはち頭痛を治す

蕎麥切 同鍊餅 全治前の蕎麥の下に詳あり

斬交 字味甚く人微毒ありて 別經云消煩と云はるこ
や結ぶん 器虚と病なく 振すきは人の膚耕と云ふ
揚野と云ふし 氣力と云ふは 花乳成りていふ是と病
索麩 揚とわひく 乳と潤ふ 今食と云ふ 凡氣と
動じ温病とあり
麥粉熬 氣味甚く平毒あり 開按に中と補ひ氣練と
論一五蒸と和 經絡と潤へ下痢と治は 中満乃人
及小兒の痲痘よりく ぬしとあり
麩筋 氣味甚く冷毒あり 時熱と解ひ 芳極の今ふ

煮麥 原中とゆるし 氣液を 開按に病中病は 此の地
り非くまは 養と依るん 或ハハ 或ハわし 物と云ふ
大交麩 氣味甚く平毒あり 人微毒あり 蘇胃と平作
湯と云ふを 消し 脹満と云ふは 小麥の麩より 勝なり
小交麩 字味甚く温微毒あり 華と云ふとや 此の不
そくと病ひ五蒸と云ふ
昇花 字味甚く温毒あり 飲食を 拘ねに 痛ふとの
性浮と云ふあり 病小兒といふん
炒米 胃と潤し 温と云ふと云ふ 湯と云ふと 津と云ふと

かんた

道明寺

まよと重拘攝の秘とより大小便と利と

香煎

氣以下一腸胃と利一渴と病入小兒に忌

米麴

を味其くうん毒ありひひく食と消一痢

とやめ小兒の食病と治

中と潤くうん心痛痒

と治めゆりと破る煩とのぞくうんと拘ひ強とおとに

酒糟

を味其く辛く毒は蘇蘇茶の云く中とあたく

め食は消し冷やを除去腥る香を殺一炒菜の毒と

はうひと潤一五臓六腑と調ふ

酥醃

を味其くもゆるも一潤法の魚乃毒と解一傷の

と和一五臓六腑の云くくと拘ふ

糝味噌

氣味其く平毒は南按よひのさよ而濕瘰

多く水控泄浮等の病人は臭とそと捨てぬうこそと用

命一甚るるゆるとけ人の知らるあり然らばいさのぬ

う味劣とくく人ら目と損ずとれみどりあること也

糝の性は悦しそ云く腸と通一胃とひくう氣と下

肌痒とそと潤すとこれと以てあるべきもの

淡鼓 氣味其く其く多き毒あり一刺傷を頭痛

多^ク熱^シ瘴^ノ氣^ニ惡^ク毒^ヲ燻^ル煩^シ滿^ル阿^ラ虛^ク勞^シ喘^シ吸^シ兩^ノ足^ニ冷^シ痛^シ六^ノ
畜^ノ毒^ノ後^ノの毒^ト時^珍身^ト止^中と酒^傷傷^多を温^毒毒^死
癩^逆と治^性性^弱弱^く振^す血^病血^病後^痛痛^と治^と
瀆^納豆^氣味^辛温^毒毒^はと^病病^一食^とす^ら
胃^とひ^く病^人小^兒よ^し

鰯^油辛^味甘^くと^冷利^毒毒^は開^按按^に魚^鳥の肉^一
切^の毒^と解^と多^く入^ば酒^と発^す鰯^油と味^辛汁^よ
比^す其^甚甚^と酒^も氣^を引^けら^る如^きも湯^胃胃^に
と^ま性^んん^んて一切^の毒^と解^と赤^い人の害^有有

味^辛滴^と鰯^油よ^比比^すは味^甚甚^美れ^どと解^胃
弱^く泄^瀉す^{もの}に^むむ^む
鹽^中と利^一氣^とと^食食^とす^む

醋^辛味^酸酸^苦く^人毒^は鰯^油と清^一水^氣
と^らし^邪邪^毒と殺^す器^産産^後の血^運運^と治^一積^聚聚^と冷^と
食^清清^一惡^毒と破^痰痰^飲飲^と中^一筋^とと^り
膏^と損^と食^てと^筋筋^とと^り

胡^麻油^氣味^甘甘^く大^多毒^は原^生生^{ある}性^多多^にて
疾^と治^と炒^りの^性性^熱熱^いて病^と発^むむ^{もの}は性^温温^ん

小くして人と補ふ 洗虚勞と活揚胃とあわらうなり 凡
 氣と行血通と通一頭上乃浮凡とより乳園と潤と乳
 母にのまこと後せしむば子の病と生む又せしむて
 うこ小児の頭と乃法の瘡に付てり 關按は今れ醫師
 病人の系と与はるは必胡麻の油紙食しあられとふ
 何は智こころと知と或ひとれ云く油の氣獨獨あ
 とし薬力とさゆごとくといふ方中に胡麻拵薑あり
 呼嗟ぞくさふのゆとひあり
 豆腐 氣味 其く鹹を毒あり 原中とゆるく氣と厚し

揮胃と和し振漏と消し大腸の濁氣と下は關按は豆
 腐とつるは法時珍乃説ところと目の中にけりごとく
 異あはる目の中の造法は唯そののけ汁と油のとりと入る
 ことありて山藜葉石膏等の物としをせ故は氣味其く
 冷し寒し性あふく平和ありぬ食て人は妨あり
 豆腐皮 氣味 主治は豆腐よりと腸より後病にいた
 葛粉 氣味 其く平毒あり 蘇渴とわめ大小便と利し
 酒毒と解し煩熱とより丹石の毒と厭小児の瘻瘻
 つるは關按は性平餅とありてとてさゆとけり

蕨根粉 潤按は痰病小らまたげは然る狎腎虚冷乃

そのい一病一かひを食うべ

沙糖 氣味甘く多毒は唐心脈痰脹口の乾き渴

と治し眼一掃と潤大小腸乃痰酒毒と解てを食

ば長虫と生一齒と損一虫牙とる

冰糖 氣味酸く多毒は唐全治沙糖の同目と明

一棗の肉巨勝の粉と合せ丸一服多きは肺氣痰

潤一五後と助嗽と治一痰とより酒毒とけ一中と

安一腎氣と助んことゆるい△紫沙糖前のこと沙

糖冰糖よたくらぶれがわいえくく食うべ

飴糖 氣味甘く大温毒は別虚之と猶ハ渴と止血と

ころ思虚冷と補ハ氣力と向一腸鳴咽乃いこと心

つじよ血のゆらるるを治と痰と消一肺と潤一

熱とい洗脾胃と健ハ一中と猶ハ打損痰血の類と治と△

時凡そ中滿吐逆ハ久虫ハい眼赤ハこと痰病の有に

せのよ思あらくる腎とやうりひのこ歯とら

食鹽 氣味辛く多毒は唐心脈痰脹口の乾き渴

の痰と吐一心脏卒にいこと心虫毒とらる一皮膚の

風毒とこり宿食と消一大小便と通疝氣といや毎朝
 乃うがいとすうにちのどいにするみぐも其あを手に受
 てぬの目と洗はれあさうりて藺雪く動し色△保
 食へば人乃うらと失いんえんく筋らうと損し肺と傷
 藺藺氣味うく寒毒は開消渴と治機三元延壽
 書にぬくこんくんと食うて勞瘵と治一痔毒疣瘰と愈
 飛性冷いるふいんまをわく
 石花菜氣味のゆるくもく大を毒るは暑と解一焚
 と徐くぬくばうくくは解胃虚冷の人よい

白柳守味甘く平瀉毒は誑虚勞不足と補入夜中
 乃宿血と消揚と厚中明胃と用疼と消一渴と心
 血と治一心怖と洞肺胃心焚ういそうといや一聲喉
 とうり出とらうに勝及胃血うんてうへき痔漏下
 血液治
 烏桕守味苦く温毒は景痢病と治陳器薬と扱
 肉は口より嘔逆とあぶからうり食を即や
 符藻守氣味陳小兒の下痢下血と治
 果子類

饅頭 氣味甘く温毒は食物中と補ひ氣を補ひ脾胃と
補ひ臟腑と和す燒てくくハ熱積と消し脹滿不食
乃人小兒の母症よりあるべし
羊羹 氣味甘く冷心肺と潤中と和す痰と解し揚
と利し後病よむ
米肥 氣味甘く平虚と補ひ中と潤し心の養ひ氣
と補し後病よむ
外郎饅 氣味わゆるん氣と中と寛ひあを物け
後病よむし月也小兒にむ

饅饅 氣味甘く温大槩を外郎饅と同病人に
うん多くとハ凡熱痰をのむ
薑饅 氣味甘く平脾胃とんけ氣液の一大腸と
氣と後病よむ
鶉饅 氣味甘く温中と調へ氣力と多し後病よむ
白雪饅 氣味わゆるん虚勞と補ひ大槩を脾胃
とんけ後病にいふ
菓饅 氣味甘く平中とんけ人温とんけ泄痢とやめ
病人よむし妨げあり

落鳳 氣味の油く過汗胃と養ひ泄劑とやめ氣は
ゆる依病より用ひく油くけなき

煎餅 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に
煎餅 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に

松緑 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に
松緑 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に

藤子 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に
藤子 氣味其く過氣と養胃と吐く依病に

に

肉米 氣味其く過中と和氣と養胃とやめ病小兒
水辛 氣味其く過中と和氣と養胃とやめ病小兒

沙糖 氣味其く平中と潤し食と消し腸事と起
沙糖 氣味其く平中と潤し食と消し腸事と起

阿餅糖 氣味其く平心肺と潤し渴とやめ瘧とけ
阿餅糖 氣味其く平心肺と潤し渴とやめ瘧とけ

蜜漬 氣味其く平熱種のとと養及病
蜜漬 氣味其く平熱種のとと養及病

宜と此の其二と記之餘類例は依て知べし

天門冬 氣味苦く其く冷肺と潤し火と下陰瘕と消し
虚乏と補ふ

佛手柑 氣味平氣以下のいそくと活也

橘 氣味あましく温胃とひくそ物と利し渴とやじ

橙 氣味其く冷腸胃に悪氣以下り酒毒と解也

姜 氣味辛く其く温風氣以下り咳痰とやめ食と下火

野菜干物類

干大根 氣味あましく平脾胃とやじあひ中と潤ふ

干蕪 氣味其く温さよと補ひ氣以下り滯血と破る後病よい也

干菁 氣味其く其く平腸胃と利し氣と下り濕とさ

化後病よい也

藜蘆 氣味苦く平氣以下り滯血と破る後病よい也

干瓢 氣味あましく平脾胃と潤し中と和し脾胃とゆるん

病人小兒よい也

干此 氣味其く平中と利し氣と下り後病よい也

干苔 氣味あましく平濕氣とらるし胸脇入と除き瘕と

化し後病よい也

干松茸 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

乾椎茸 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干飯 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

鮑魚類

干鯛 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

小兒よいむ

干鯛 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鱈 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鮓 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鰯 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

乾鮭 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鮓 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鰯 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鯛 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鮓 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鰯 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

干鯛 氣味其く平温もあく損もあく多らく人ば泄痢の病人小兒よいむ

と漬し其燥とわひひとと成りて薬にして少食べし
多くとぬしとの色又痔漏より火心ひたるとあつらら
瘡毒もて手と経ると再発と新酒とこれと同じ
干鱈残氣味を治る生に同じ然病よいまん
鱈氣味あましく温氣液補胸と利中と和と然病よ
加豆乃古き味を治鱈の同甫按法奥の子すんく
毒ゆると鱈魚の子よひとりのまん
賜氣味甘く酸く平毒は甫按は産後産前崩中滞

下血くろく等此然疾と治と婦人好で常にくして宜
脾胃虚すらの多くとぬく消化かさ改り
干鮓氣味平毒なり然病よいまん
烏沈魚氣味其く平中と和胃と養ひ氣力を養
然病よいまん
熬海鼠とことこの多くと平毒は然病よ忌と然病よ
これと食ふ按に産後脾血弱とものよ煮るをせざるを
用むは時ハ必と腹痛泄瀉と遂に死にのうけ物とん
なよるものいしてあふることある

串鱈 氣味其く三月もよく承毒を治病よいが精と益
糸ど加らくし同とわさうくふに益あり

尉平 氣味白治串鱈の同

加豆平節 氣味わましく承毒は中とくの人氣力をま

去胃とや承病よいます

唐墨 氣味あつく其く濕氣とくじ食とすく酒の

酔とくゆん治病よいじが用也へ

鱈魚類

鹽鯛 氣味よくもく承中と和 腸胃と利と多食へ

かべ

鹽鱒 氣味鹹其温中と温揚胃と利と治病忘るが損也

鹽魴 氣味鹹く冷損益あり 治病よい

鹽鯉 氣味よくもく温治病小兒よい

鹽鱈 氣味よくもく冷とんるなり 治病よい

鹽鱒 氣味よくもく冷性あり 承毒治病小兒よ

鹽鱈 氣味よくもく其く損益あり 多食かへ

鹽曳 氣味よくもく温精氣と和 筋力と強 小兒と

利と病人よい

鹽鱧 氣味辛平 多入濕毒 利一痰血 下注諸病
及小兒 癆瘵 咳逆

鹽鯨 氣味辛平 多入冷損 乃益 祛病 小兒 難入

鹽鯨 氣味辛平 多入傷病 宜多入 祛病 小兒 難入

刺鯨 氣味辛平 多入口 瘡 癆瘵 者 拘攣 入 祛病

魚 鹹 溫 小毒 祛病 益 祛病 祛病 小兒 難入

鹽鱓 氣味辛平 同 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

實 祛病 中 滿 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

炒鰕 氣味辛平 治生 鰕 同 多入 祛病 祛病

海獺魚 氣味辛平 治生 鰕 同 小兒 難入

鹽炮 氣味鹹平 多入 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

醋持 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

鹽鶴 氣味辛平 多入 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

鹽鴈 氣味辛平 多入 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

鹽鴈 氣味辛平 多入 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

鹽鴈 氣味辛平 多入 祛病 祛病 祛病 祛病 祛病

いじやくくくはわいふ小児を忘

鹽鴨 氣味は冷く多中と和揚胃と利と補をほ

多らくは痒瘡と生一は病小児をいじ

鹽漬魚類

鮑魚時珍 鮑を即り今れ乾魚のときり 醃魚時珍 醃

とひて漬むに臭なり氣味辛く臭一温毒の録瘡

血痺手足はあつて散り女子の崩中せらやよさうと

と李孕婦これとくは子にやまひ多し

鮓鮓唐本 鮓乃揚と陸に蒸るなり 爾按

ふけよ自家小修との良市にうらもの佐菜の毒湯とぬ

ふゆんとと恐ゆふらぬとあり九前にはのうと

あうとの氣味は活と著とらる鮓鮓の類をいじ

備よのべと故よあつた其品と一類は約りたすその醃酌

るはまこととれ

魚脂 氣味は甘く温小毒あり 時珍の脂と燈にさる阿白と損

鮓鮓類

魚鱠 氣味は温く温毒を器温の補ふ冷氣濕痺とけり

膀胱の水と淫る氣塊疝氣喉中乃氣じすやき心下乃

酸水と活胃口と用大小腸と利一按抑と補ハ陽事と
起一親御氣風寒及び上氣せんぐいと活夜食しと
うき消せたる積とあつ冷水と飲とのき虫とせむ時行
病後よとくハ胃ハ弱一按するハ魚鱸の類ハ
差のく多とぬべし

魚鮓 氣味甘く酸平毒あり 補按するハ使役ハカと
起と一脾胃とよきとものよ忌押其疾乃のいよ忌
まるとハ瘡 飛と九酢ハそん多し毒あり

菌類

赤白菌 氣味甘く平毒あり 氣と色能く風と活 四代
やうと九菌とよりらに香と以て毒あり 食ハ一綱目に
のすうハ毒のくさひく甚ど多し 今ハこれと三つと
食とちれとと香葦ととりども病者とりて食とと謹り

小鳥類

小鳥 按するハ法の小鳥大抵氣味同じてあらぬとく
こあしはは然とと病後ハ多食して宜し

金銀鍍燕脂類

金氣味辛く平毒あり 珣 生らる者ハ毒あり 熟する

その毒は精神とらめ骨髓とくくし五蔵の邪氣の
とくく小児の驚き揚と活して人々風熱と氣ういそく傷を
肺損吐血骨蒸等極と活と
眼 牙痛くくま毒あり大毒毒はまきと安し
心神とくく驚き怖とやめ邪氣流るる久服すれは
身とくく小児の癩疾るひと活と活と目成明と
風熱とくく
鏡精 味とくく心毒は心と鎮り目と明とくくの大
をひ狼悪鬼ようゆきくるに振する時ハ毒固らるる入に依

乃毒瘰中へ入ると解とくくゆけに類に洗とくく愈は時
氣の瘰と生し拘中れ焚するにのじ
燕脂 氣味甘く平毒は小児の耳とけよひとくくそ
ゆけハ血成生ト痘毒と解と
百州霜とくく幸く温毒は積滯と消し婦人ハ崩中帯
下産前産後ハ依病口舌のと一沔の依瘡と活し依乃
血成とじり
墨 氣味辛く温毒は切らんと合せらとくく肌肉と生
に産後の血暈崩中卒に下血するに醋とくくすうく

月白く血刺眼目のくひ目の中へぬのへるに乳汁
をすくるとすきて瞳子のうらよ點を

日用食性和解大全大尾

元禄十六年癸正月吉コ

廣益三重韻小本全冊
井薄用摺

唐音附改正増字此書ニサレ聚分韻界ナシ
其上正俗字例兩韻并疑ヲ附録ス詩人究メ
テ此書ニヨルベシ

四聲字林集韻全一冊

大ニ改正精撰仕候才クニ詩作使用ノコトヲ増補シ
袋紙ニ如下記シ
浪華書舗古文字屋
出候本格外宜ク候御改御亦可被下候 訂本

歷朝帝王典制記事

上下合本冊 唐主ノ始ヨリ明ノ代々帝王制度事物ヲ始テ制
明謝紹芳選 述シ玉フテ千余ヶ条書集テ其義ヲ詳ニス

四書白文 全五冊

大字大儒ノ校正ヲ永ク改正他ニ類ナシ奥ニ字引ヲ附録ス
忘ルル字アレハ則チサクリ見ルニ甚便利ニアタ白文御坐
ソロ間々大字吉文字屋板下御尋御求可被下台海内第一ノ好本ニ御坐ソ

詩材校錦

川口先生輯全 唐詩ノ熟字ヲ集テ事百二十門ニ類チ三千二百コ
懐中紅黠入 レヲ撰ハ花月ヲ摸出スルコト声アツテ画來ル如シ詩

